

資料提供	
平成29年11月27日	
担当課 (担当者)	埋蔵文化財センター (濱田・大川)
電話	0857-85-5011

とっとり弥生の王国調査整備活用委員会調査研究部会 (青谷上寺地遺跡担当) を開催します

平成29年度とっとり弥生の王国調査整備活用委員会調査研究部会(青谷上寺地遺跡担当)を下記のとおり開催します。

報道関係者受付は午後0時30分から発掘調査現地にて行います。

記

1 日時と場所

平成29年11月30日(木) 午後0時40分から午後3時まで

- (1) 現地視察 午後0時40分から午後1時5分まで
第17次発掘調査現地(鳥取市青谷町青谷) ※裏面「別紙」参照
- (2) 議事 午後1時20分から午後3時まで
鳥取市青谷町総合支所多目的ホール(鳥取市青谷町青谷667)

2 主な内容

- (1) 平成29年度発掘調査(第17次調査)の成果について

※青谷上寺地遺跡の整備活用基本設計に調査成果を反映させるため、遺跡の「中心域」を調査しました。調査では、銅鏃(累計で全国でも有数の出土点数)・貨幣(中国の貨幣:弥生時代の出土は山陰唯一)・玉類が豊富に出土したことから、青谷上寺地遺跡の最盛期(後期後葉から終末期)には広範な他地域との交流が行われ、「中心域」において重要な交易品となる玉類の生産が行われていたことが明らかになりました。

- (2) 平成29年度整備予備調査(ボーリング調査)の成果について

3 とっとり弥生の王国調査整備活用委員会調査研究部会(青谷上寺地遺跡担当)

青谷上寺地遺跡の学術的な発掘調査の方法・計画について専門的に検討する。

専 門	委員氏名	所 属
考古学	きのした なおこ 木下 尚子	熊本大学文学部 教授
	のじま ひさし 野島 永	広島大学大学院 教授
	ながとも ともこ 長友 朋子	立命館大学文学部 准教授
古環境学	つじ せい 辻 誠一郎	東京大学大学院 教授
保存科学	ふりはた じゅんこ 降幡 順子	京都国立博物館 保存科学室長

4 議事の公開について

議事は県民の皆様にご公開します。下記のとおり当日に傍聴の申込を受け付けます。

- (1) 傍 聴 定 員 20名(先着順、定員になり次第締め切ります。)
- (2) 受付開始時刻 午後0時40分から
- (3) 受 付 場 所 鳥取市青谷町総合支所 多目的ホール(会場)